

北上発

手作りの「金色堂」



北上市の瀬美温泉に手作りの金色堂が展示されています。中尊寺金色堂を模したもので幅2メートル、高さ2・5メートル。木材やパイプなど

工事現場から出た廃材が使われています。大船渡の建設会社で働く菊池静さんが、震災発生後に復興への祈りを込めて一人で作りあげ、大船渡市内の仮設商店街に展示されていました。10月のいわて国体本大会の選手団が宿泊予定の瀬美温泉の菊池優巧会長が菊池静さんと親戚だったことから、「国体選手団の歓迎と、震災の風化防止のために」と展示したものです。

(4/14 ニュースエコー)

宮古発

田老分署業務開始

津波で被災した宮古消防署の田老分署が三王地区の高台に再建され、業務を開始しました。新しい分署は国の災害復旧費などで整備され、延べ床面積は400平方メートルと、旧庁舎より倍近く広くなりました。田老の高台団地では今年度に入り続々と公共施設が完成しています。地域の防災拠点の整備は復興に向け大きな前進となります。



(4/15 ニュースエコー)

宮古発

桜の植樹



東日本大震災からの復興を願い、宮古市でサクラの植樹が行われました。盛岡ロータリークラブのメンバーと苗を育てた盛岡農業高校の生徒が宮古水産高校を訪れ、宮古水産高校の生徒と宮古ロータリークラブのメンバーも加わり、オオベニザクラやエドヒガンなどの苗木、6本を校庭脇に植えました。宮古水産高校では津波が校庭まで押し寄せましたが校舎を囲む桜並木は今も立派に咲き続けています。

(4/16 ニュース)

大槌発

浪板海岸ヴィレッジ



海に賑わいを取り戻そうと、大槌町の浪板海岸にコテージタイプの商業施設が業務を開始しました。民間の財団の支援でオープンしたのは津波で被災し、仮設施設で営業を続けてきたサーフショップやカフェなどが入る商業施設『浪板海岸ヴィレッジ』です。雨の中での初日となりましたが、施設には多くの方が訪れ、賑わっていました。

(4/17 ニュース)



宮古発

さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、みやこハーバーラジオの田澤紗綾さんが、37回目となる「浄土ヶ浜まつり」について伝えてくれました。まつりは4月29日と5月2日～5日までの5日間行われます。手こぎボートの無料開放や浄土ヶ浜ウォーキング、シーカヤック体験試乗会などのイベントのほか、ステージでは宮古出身の歌手、小田代直子さんや金澤未咲さんなどの歌謡ショーも行われる予定です。また、目玉企画は「毛ガニ汁」のお振る舞いで、5月3日～5日の3日間、浄土ヶ浜レストハウス前で毎日先着100名に振る舞われるという事です。(4/20)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122